

授業科目 NO. 407 老年看護学方法論 I (看護援助演習)

Gerontological Nursing I (Nursing Care Seminar)

授業の形態： 演習

単位数(時間数)： 1単位(30時間)

開講年次・学期： 2年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 加齢変化、高齢者の健康障害、生活機能障害、
日常生活援助技術、看護過程

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

加齢を基盤にした高齢者に特徴的な健康障害および生活機能障害による日常生活への影響を理解し、日常生活を整える援助技術を修得する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 加齢を基盤とした高齢者に特徴的な健康障害、生活機能障害について理解する。(①②)
- (2) 加齢を基盤とした高齢者に特徴的な健康障害、生活機能障害のアセスメントの視点を理解する。(①②)
- (3) 高齢者の日常生活を整える基本的な援助技術を実施または説明できる。(①②)
- (4) 認知症を正しく理解し、認知症ケアの基本的な援助技術を説明できる。(①②)
- (5) 生きてきた時代背景と共に高齢者の生活史を理解し、現在の健康・生活機能との関連をとらえて看護過程の展開を行うことを理解できる。(①②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	70%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：中道 淳子

教 授 平松 知子 (老年看護学)
 准 教 授 橋本 智江 (老年看護学)
 准 教 授 中道 淳子 (老年看護学)
 嘱 託 講 師 直井 千津子 (老年看護学)

6 教育担当者の実務経験

教育担当者は全員看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 (医学書院)
- 2) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 (医学書院)

8 推 薦 参 考 書

- 1) 高齢者のナイトケア (日本看護協会出版会)
 - 2) 認知症ケアガイドブック (照林社)
 - 3) 生活機能からみた 老年看護過程 第5版 (医学書院)
- その他、授業の中で適宜紹介する。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要である。

- 1) 「老年看護学概論」の授業で学んだ内容について復習しておくこと。
- 2) 授業前に教科書やナーシングスキルによる事前学習を行い、理解できない内容をノートにメモして授業にのぞむこと。事前学習箇所は以下の通り。

1～3回目の授業：教科書 2) 序章 C 高齢者医療の要点、1章 I 運動機能の変化、4章 O 感覚器の疾患、教科書 1) 5章 A 日常生活を支える基本的活動、F コミュニケーション

4～10 回目の授業：加齢に伴う変化とその影響、必要な援助技術の内容で構成されるため、教科書 1) の各単元の該当箇所と合わせて、4 章高齢者のヘルスアセスメント B 身体の変齢変化とアセスメント、教科書 2) 1 章高齢者の生理的特徴の関連器官の内容、また関連器官の解剖・生理学の復習も行うこと。

11～13 回目の授業：教科書 1) 6 章 D 認知機能障害のある高齢者の看護、教科書 2) 4 章 B 認知症

14・15 回目の授業：教科書 1) 付章 看護過程の展開

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。
- 2) 試験に関しては、質問をもとに解説を提示する。

11 履修上の注意事項

- 1) 授業のグループワークやディスカッション時は、積極的に参加し学修を深めること。
- 2) 課題、レポートの提出方法・期限は厳守すること。

12 オフィスアワー等

質問は随時可能である。但し、事前にメールで都合を確認することが望ましい。

平松 hiramatu@kanazawa-med.ac.jp

橋本 hashimo@kanazawa-med.ac.jp

中道 junkon@kanazawa-med.ac.jp

直井 c-naoi@kanazawa-med.ac.jp

第2学年

老年看護学方法論 I

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月02日(金)	3	講義	ガイダンス、加齢に伴う身体機能の変化と生活への影響		老年看護学	平松教授,橋本准教授,中道准教授,直井講師
後	2	10月02日(金)	4	演習	加齢変化と生活への影響の体験(高齢者疑似体験)	レポート	老年看護学	平松教授,橋本准教授,中道准教授,直井講師
後	3	10月06日(火)	4	講義	加齢変化と生活への影響の体験(高齢者疑似体験)振り返り	グループワーク 課題レポート	老年看護学	中道准教授
後	4	10月13日(火)	3	講義	高齢者の生活リズムを整える看護(睡眠、休息と活動、社会参加)		老年看護学	橋本准教授
後	5	10月20日(火)	3	講義	高齢者の清潔(身だしなみ、感染予防含む)		老年看護学	橋本准教授
後	6	10月20日(火)	4	講義	高齢者の栄養と食生活		老年看護学	直井講師
後	7	10月27日(火)	3	講義	摂食嚥下障害の看護		老年看護学	直井講師,中道准教授
後	8	10月27日(火)	4	演習	高齢者の口腔ケア、義歯の取り扱い方		老年看護学	直井講師,中道准教授
後	9	11月24日(火)	3	講義	高齢者の排泄の特徴と看護		老年看護学	中道准教授
後	10	11月24日(火)	4	講義	高齢者に起こりやすい症状(脱水、せん妄)・薬物療法		老年看護学	中道准教授
後	11	12月01日(火)	3	講義	認知症高齢者の理解		老年看護学	中道准教授
後	12	12月01日(火)	4	講義	認知症高齢者の看護		老年看護学	中道准教授
後	13	12月04日(金)	3	講義	高齢者を支える家族の看護	レポート	老年看護学	家族の会,橋本准教授
後	14	12月08日(火)	3	講義	老年看護過程の特徴、高齢者の生活する場の特徴と多職種役割		老年看護学	中道准教授
後	15	12月08日(火)	4	講義	老年看護課程の展開	グループワーク 課題レポート	老年看護学	中道准教授
後		12月19日(土)	2	試験	定期試験		老年看護学	中道准教授